

若手女性校友が語るこれからの北九州校友会

北九州校友会では他県の校友会と比較し、若手校友、特に女性の参加率が高いことで知られています。そこで今回は本年度より新しく活動に参加してくれた新卒校友にも参加して頂き、校友会に参加をすることになった経緯や皆さんにとっての校友会とはを語って頂きたいと思います。

と き 平成23年8月20日(土)
ところ 門司港ホテル メインホール

【出席者】

北九州校友会幹事 中西 あき(昭60・文)
(三宅)
幹事 栗林奈津子(平15・産社)
幹事 坂本智恵子(平19・法)
幹事 野崎 知美(平23・法)
進行役 初村幹事長(昭53・経済)

【校友会に参加したきっかけ及びその思い出】

初村：それでは本日は皆さんよろしくお願ひします。

野崎さんは新卒ですので、まだ間がないと思いますが、みなさんが初めて校友会に参加したきっかけとその時の思い出についてお話しできればと思います。

では、坂本さんからお願いできますか。

坂本：私が最初に参加したのは総会でした。最初は「ああ同窓会ってこういった形式的なものなんだろうな」という印象でした。

そして次に参加したのが全国校友会の打合せに行ったのが二回目、その時に幹事の役目を頂いたのが参加をするようになったきっかけですね。でも、総会のときと次に参加したときの違いが大きかったですね。お堅いイメージだったのが、すごく柔らかくなって「次いつ来れるの」として声をかけてもらったりして。とても気さくな先輩方が多いんだなという印象を持ちました。

初村：野崎さんはウェルカムパーティが初めての参加だと思うんだけど、どんなイメージでした？

野崎：初めはすごく緊張して行ったのですが、受付で坂本さんがすごい笑顔で迎えて下さっ

て、それで一気に緊張がほぐれました。

坂本：野崎さんが会場に一番に来てくれたんですよ。だから嬉しくて…

その後は「何か手伝うことはありませんか？」って、話しかけてきてくれたので、積極的な子だなと思い、「この子は校友会にも参加してくれるだろう」と感じました。

野崎：捕まっちゃいましたよね(一同笑)

先輩方の年代が幅広いんですけど、皆さんとても優しく積極的に話しかけてくださったので、また来たいなって思いました。

初村：栗林さんはどうでした？

栗林：大学を卒業した年の総会に参加したのが初めてですね。私の父親が中西先輩と職場が一緒だったので、そこで中西さんの存在と総会の存在を知って「ああそんなのがあるんだ」と思って参加したのですが、特に堅苦しいとか居心地が悪いとかは感じなかったです。

坂本：でも、男性が多いから行きたくないなという感覚ではなかったですよ。

栗林：そうですね。とりあえず二年に一回総会があって、それには参加しようかなって思っていました。

中西：役員になったのは何がきっかけだった？

栗林：駅伝の応援に参加しようと思ったのがきっかけですね。その際に初村幹事長から役員になってもらえないかって言われたんです。リクルートされたって感じですかね(笑)最初はそんなに簡単に役員になれるもんなのかなって驚きましたが(一同笑)

初村：なれるなれる。女性はみんななれるんだから(笑)

栗林：でも最初の駅伝は海外旅行に行っていたので、結局応援に参加できなかったんですよ。



栗林幹事

中西：役員になって何か気持ちは変わった？

栗林：うーん。未だに自分で大丈夫なんだろうかって思っていますが。基本的には年齢の上の方がやるものだって思っている節があるので。考え方が古いんですかね？

中西：でも、沖縄とか地方の校友会に行ってもらったり、京都の会議とかに参加してもらって、かなり貢献してくれてると思うけど。



中西幹事

坂本：私はそれが嬉しかったですね。私でも参加していいんだって思いました。

栗林：私も坂本さんと同じように思いました。

初村：だから北九州校友会は若手の女性に積極的に参加してもらうために、会長があえて若手に参加チャンスを与えて下さってる。そうやって中核のメンバーになってくれる若手を育てていかないと、いつまでたっても同じメンバーや顔ぶれしかそろわない会になってしまうからね。

坂本：責任を持たせてもらってる感覚があるの

で、いいかなと思いますよね。やはり貢献しないいけないというやる気も出てきますから。

初村：沖縄の校友会なんかに参加した時は楽しかったんじゃないの？

坂本：ほんとにあれはすごくいい思い出ですね。

最初はすごく緊張してたんですけど、懇親会などを通じて全国にはこんな方々がいるんだなというのがすごく分かりました。行って見ないと分からないですからね。

中西：そうそう。でも、あのあと他の校友会の人から坂本さんはすごく頑張っているって話を色々聞いたよ。

坂本：ああ、恥ずかしいです。あの時はほんとにみなさんに良くして頂いて、6次会くらいまで行きましたからね(笑)

一同：すごいよね

初村：それで中西さんはどうだったの？

中西：私は20年前に初め



野崎幹事

て参加したんですけど、その時女性は私一人でした。それでもう次回は行かないかなって思っていました。周囲をみてもおじさんしかいないし、「わあちょっと寂しいな」と思っ

でも、そんな時に当時会長だった高藤先輩がすごく面倒をみて下さって。他の先輩方も何かと世話をやいて下さって。それでその恩にも報いないといけないと思ひ、2年に一回の総会だけは顔を出してたんです。でも、それ以降も女性の参加者はほとんどなく、来ても次回はもう来ないとか、そんな期間が10年くらい続いてまし

た。幹事長が初村先輩になってから高藤会長とともに、今後の運営について話し合って「女性を増やさないと今後の校友会はないよ」ってことになり、積極的に参加してくれた女性の校友をフォローしていくようになったんです。それからみんなで色々アイデアを出し合って、女性校友の参加獲得の取り組みに力を入れたら目に見えて女性が増えてきました。

坂本：やっぱり声をかけてもらうのは大切ですよ。

中西：そうそう。当時の高藤会長とかからは女性部的なものを作って欲しいと言われていたけど、本当に参加してくれる人がいなくて…悩んだ時期もありました。でも、昨年の学園の統計で北九州校友会の女性参加率が全国一位になるなど努力が実を結んでいます。昔のことを考えると夢のようです。

【皆さんにとっての校友会とは何ですか】

初村：じゃあ、今後の校友会のあり方について聞いていきたいです。立命館大学は卒業生の4割が女性になっているのですが、どこの校友会をみても女性の参加者が非常に少ないのが現状です。みなさんにとっての校友会とはどんなものをお聞かせ頂けますか？

坂本：今、北九州校友会でやっているイベントって何がありましたかね。

初村：ウェルカムパーティ、総会、時々やっているビアパーティと、あと駅伝応援だね。

中西：北九州校友会は基本的に皆仲がいいですよ。飲み会、小旅行など初村先輩が声かけすればすぐ集まるし。職域などのしがらみがないので、そうなのだと思えます。校友会の集まり

で皆の顔を見ると何かホッとします。楽しく、いい意味で個性的なメンバーが集まったのもラッキーだったと思います。

坂本：でも、総会以外での結びつきって重要ですよ。ちょっとしたイベントとか食事会などがあるといいですよ。やっぱりいきなり総会となるとハードル高いです。

だから今のサイクルってちょうどいいですよ。

ウェルカムにきてくれた人をビアパーティに誘って、そこに来てくれた人を総会に誘って、そして年があけて駅伝応援があって、そして次のウェルカムがくるっていう。

一同：そうですね。一年間通してずっと何かでつながってますからね。

初村：栗林さんはどうですか？

栗林：年齢や職場が異なるけれど、同じ大学卒という縁でつながっている人たちと知り合って、交流できるということはとても貴重な機会だと思うので、そういった機会を積極的に得られると思って気軽に参加してもらいたいですね。

初村：皆さま本日はありがとうございます。



武田さんにお聞きしました

どうして立命館へ進学されましたか

兄が小学校から立命館でしたので、自然と大学は立命館と決めていました

それとシンクロと学業が両立できるサポート体制がしっかりしていましたから

授業には出れましたか

やはり競技会や合宿が多かったので出る機会は限られてましたね

でも立命館は厳しかったですよ シンクロをやっているから試験は免除何てことはありませんでした 特別扱いはありませんよ だから試験に受けられないときは教授と部屋で一人追試を受けたりしていました

飲み会とは出られましたか

出れるときは出てました 回数はすくないですがその分思い出深いですよ

どのような学生生活でしたか

スポーツ主体でしたが学業もがんばりましたよ ゼミの先生に海外の遠征先や合宿先から手紙を送ってたりしました 授業には出れないけどシンクロで頑張ってますというところを見て頂きたくて

ご主人との出会いは

政府の外輪団体の会合で一緒になって彼が委員長だったので連絡を取り合うようになり

ご主人は結婚してすぐに選挙に出られましたね

ええ結婚して3ヶ月でした もともと結婚前から知っていましたから

今年3月見事、三重県知事に就任されましたが、選挙はいかがでしたか

三重県は民主党の地盤ですから厳しかったです イオン・ジャスコが多くてその社員や下請け業者・孫請けまで入れたらすごい数になりますから

でも、今年には入って風は反民主になってきましたね

史上最年少知事となりいろいろ画期的なことをやられていますね 退職金返上とか

ええ、その話は事前の相談がなくて私もびっくりしました

知事夫人としていろいろ大変でしょう

それがまったく変わりませんよ 私は私の仕事をやっていますから

主人のお供とかありませんよ 私たちはまだ若いので、新しい知事夫婦のライフスタイルでいいかなと思っています SPとかいませんよ ただ住んでいる知事公舎にはセコムの監視カメラがたくさんついていますが。

これからも知事を支えながら、ご自分の仕事も頑張ってください

はい ありがとうございます

2011年9月24日 三重県四日市市の都ホテルにて 聞き手 初村雅敬